

大きく、はっきり、何回も

ドーマン： ですから、赤ちゃんが新しい言葉を理解するには、次の3つのことが重要です。

1、刺激は、大きなものであること。2、刺激は、はっきりしていること。3、刺激は、何回もくり返されること。

私たちが、一歳の赤ちゃんに、話しかけるときは、大きく、はっきりと、何回も同じことを言っています。それは、教えられることではなく、本能的に、そうしているわけです。1歳の赤ちゃんに、「パパにボールを渡しなさい」と普通の声でいってもわかりません。まず、聞こえないでしょう。赤ちゃんのそうした器官が、まだ、未発達だからです。

ですから、最初は刺激を大きく与えて、赤ちゃんの聴・視覚が発達するにつれて、大人の声も小さくしていくのです。こうして、だんだんと、どういうふうにして話すか、ということを赤ちゃんは覚えていくのです。この質問に長い時間がかかりますが、大へん重要な質問ですので詳しく御説明いたします。

幼児はどうやって読むか

漢字は、観念を表わす文字です。英語は、違います。英語の言葉の意味は、私たちが与えているものです。GLASSESを、「グラス」と読むのは、私たちがそう読むと決めたからです。例えば、眼鏡は「グッグ」といい、「グッグ」とはxxxという印で去わすものである、と皆が決めれば、眼鏡は、「グラス」ではなく「グッグ」と言うでしょう。

そうしますと、次に、視覚的にはこれを、どのように理解するか、ということです。最初、このメッセージは目から入ります。目は、見ることはできますが、理解することはできません。

耳のときと同様、目は刺激が頭脳へ通じる一つの器官にすぎません。目の構造の中で、それが眼鏡という観念につながる作業が行なわれます。そして、頭脳へ刺激として送られます。頭脳は、盲の世界です。頭脳は、決して見ることはできません。しかし、刺激によって、眼鏡という“観念”を理解するわけです。